



提携銀行

特徴と詳細

インスパイア ウォレットの提携銀行

インスパイア社が提携する銀行やペイメントサービスを細かに解説します。

ウォレット経由で口座開設



ウォレット経由で口座開設

これらの口座開設が可能!

ウォレット経由で開設可能なアカウント



通常銀行口座を開設するのは、その国の居住者がVISAの取得を義務付けられています。しかし、フィリピンのインスパイ社のウォレットアプリは、そのハードルをクリアしました。

限られた銀行などですが、それでも「BDO」「ユニオンバンク」「BPI」「CTBC」「セキュリティーバンク」「MAYA」などのアカウントが、日本の身分証明書で開設可能です。

デビットカードやキャッシュカード自体は、現地フィリピンで受け渡しとなりますが、かなり画期的なシステムになっています。

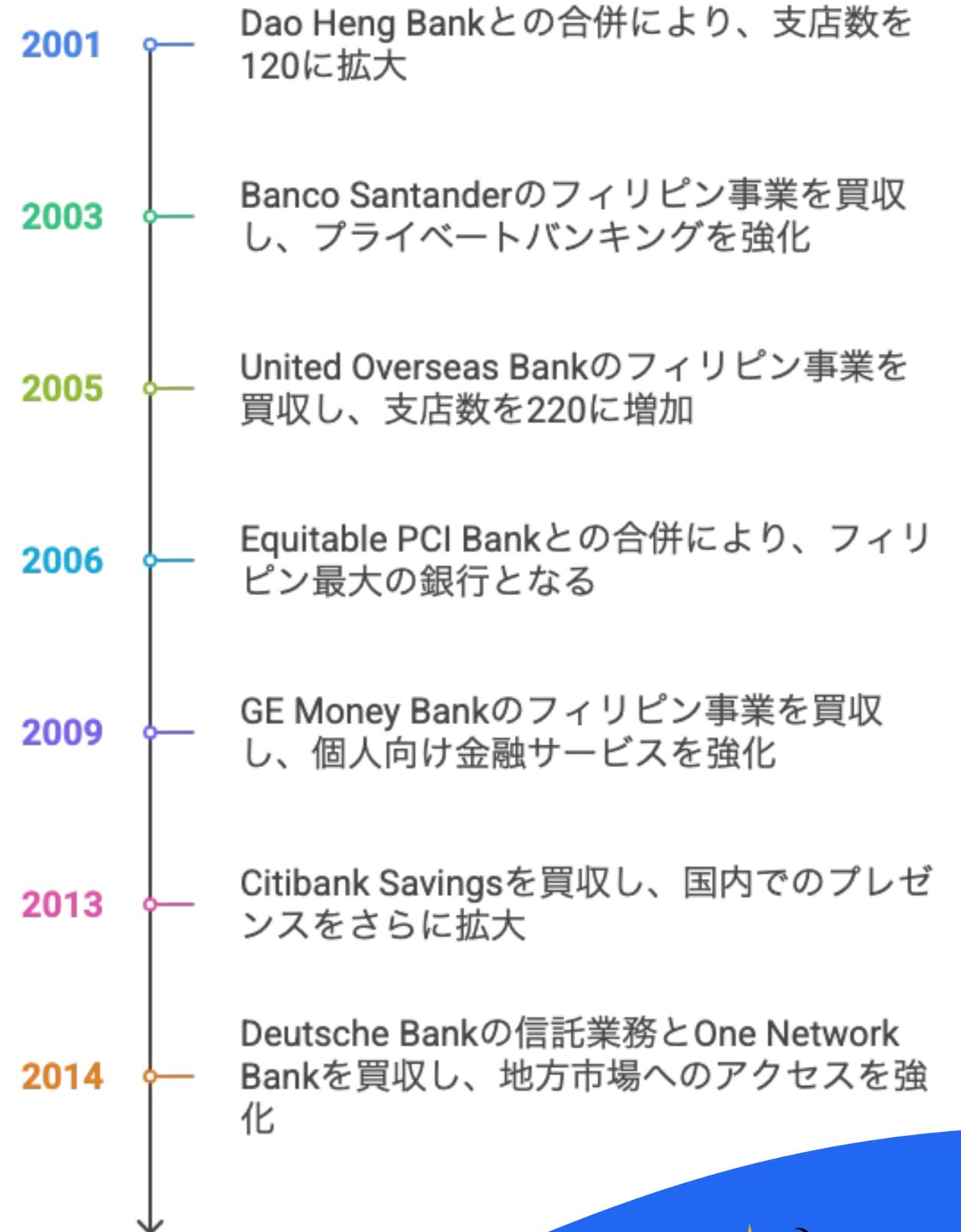


BDO Unibank

<https://www.bdo.com.ph/personal>

BDO Unibank（通称：Banco de Oro、略称：BDO）は、フィリピンを代表する商業銀行で、総資産額において国内最大規模を誇ります。1968年1月2日、Acme Savings Bankとして設立され、1976年11月にSMグループによって買収されると同時に、Banco de Oro Savings and Mortgage Bankへと改称されました。

1994年12月には商業銀行へと転換し、Banco de Oro Commercial Bankとなり、1996年9月にはユニバーサルバンクとしての地位を確立し、Banco de Oro Universal Bank（BDO Unibank）と名称を変更しました。BDOはフィリピン国内で最大の銀行となり、1,300以上の支店と4,000以上のATMを展開しています。





BDO Unibank

<https://www.bdo.com.ph/personal>

BDOは、個人および法人向けに多岐にわたる金融サービスを提供しており、融資、預金、外国為替、ブローカー業務、信託・投資、クレジットカード、企業向けキャッシュマネジメント、送金サービスなどを網羅しています。さらに、子会社を通じてリース・ファイナンス、投資銀行業務、プライベートバンキング、バンカシュアランス、保険仲介、証券仲介などのサービスも提供しています。

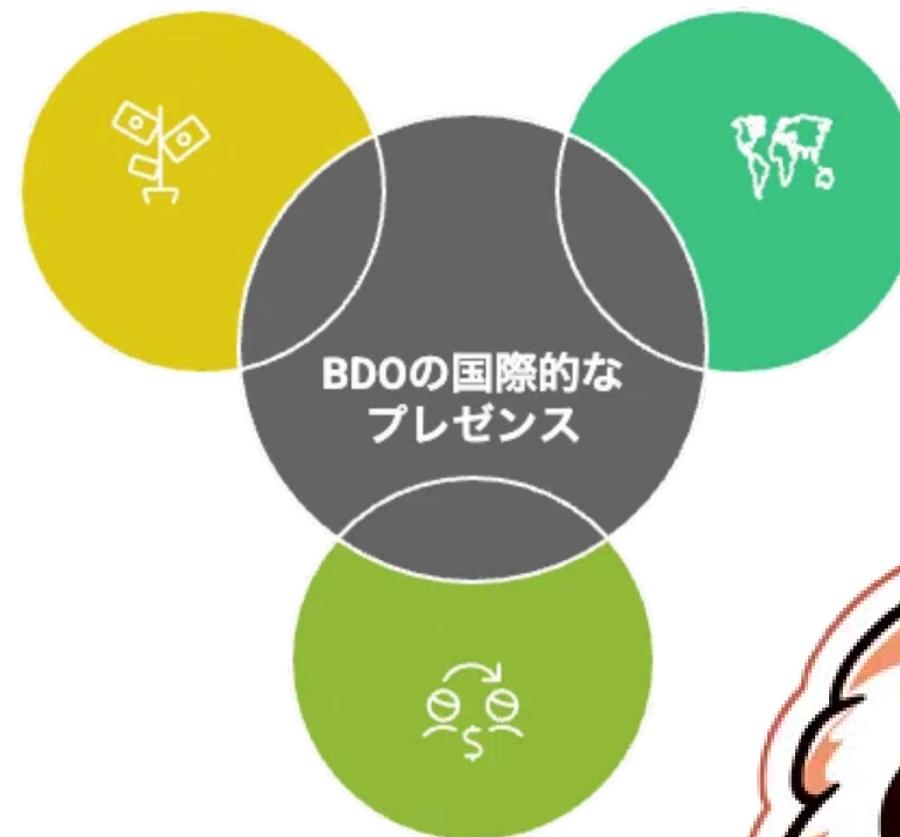
BDOのグローバル成長とフィリピン金融業界での影響

フィリピンの金融業界での地位

BDOはフィリピンの金融業界で重要な役割を果たしています。

地域的な拡張

BDOはアジア、北米、ヨーロッパ、中東を含む地域にサービスを拡大しています。



国際サービス提供

BDOは国際的な顧客向けに多様な金融サービスを提供しています。





Union Bank

www.unionbankph.com

UnionBank of the Philippines (フィリピン・ユニオンバンク) は、フィリピンの主要な商業銀行の一つで、デジタルバンキングの先駆者として知られています。

沿革

UnionBankは、1968年に「Union Savings and Mortgage Bank」として設立されました。その後、1982年に商業銀行に転換し、1992年にはユニバーサルバンクのライセンスを取得して、現在の名称である「UnionBank of the Philippines」となりました。

近年の動向

UnionBankは、フィリピンにおけるデジタルバンキングのリーダーとして、革新的なサービスを提供しています。また、フィリピン証券取引所に上場しており、2025年3月15日時点での株価は33.2フィリピンペソ、時価総額は約1101億フィリピンペソとなっています。

サービス内容

UnionBankは、個人および法人向けに多様な金融サービスを提供しています。これには、預金口座、ローン、クレジットカード、資金移動、投資商品などが含まれます。特にデジタルプラットフォームを活用したサービスに注力しており、オンラインでの口座開設やモバイルバンキングアプリを通じて、顧客に利便性の高いサービスを提供しています。

デジタル時代の多様な金融サービスを提供するUnionBank



-  **預金口座**
顧客が資金を安全に保管し、管理できる基本的な銀行サービス。
-  **ローン**
個人やビジネスがプロジェクトや購入を資金調達するためのクレジット。
-  **クレジットカード**
日常の購入や緊急の資金ニーズのための便利な支払いオプション。
-  **資金移動**
顧客が簡単にお金を送金し、受け取ることができるサービス。
-  **投資商品**
富の成長と資産形成のための機会。



BPI Bank

www.bpi.com.ph

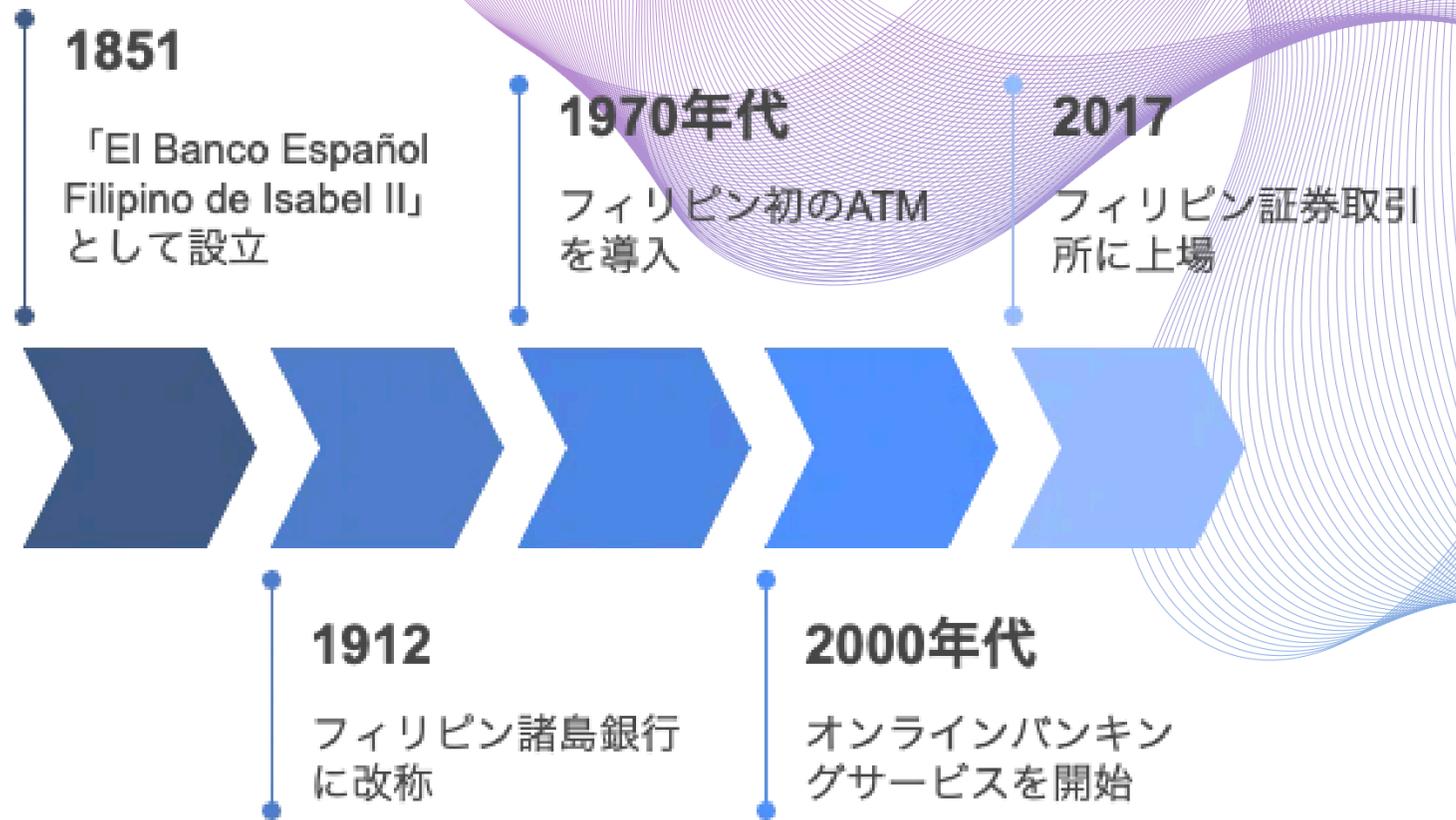
BPI (Bank of the Philippine Islands、フィリピン諸島銀行) は、1851年に設立されたフィリピン最古の銀行であり、アジア全体でも最も歴史のある銀行の一つです。設立当初は「El Banco Español Filipino de Isabel II」という名称で、スペイン植民地時代に設立されました。

その後、1912年に現在の名称である「Bank of the Philippine Islands (BPI)」に改称されました。

サービス内容

BPIは、個人および法人向けに多岐にわたる金融サービスを提供しています。これには、預金口座、ローン、クレジットカード、投資商品、保険、資産管理サービスなどが含まれます。また、デジタルバンキングにも力を入れており、オンラインおよびモバイルバンキングを通じて、顧客に利便性の高いサービスを提供しています。

BPIの歴史：革新の遺産



国際展開

BPIは、フィリピン国内に広がる支店網に加え、海外にも拠点をもち、国際的な金融サービスを展開しています。特に、フィリピン人労働者（OFW）の送金ニーズに応えるため、世界各地でサービスを提供しています。BPIの本社は、マニラ首都圏のマカティ市に位置し、フィリピンの金融センターとしての役割を果たしています。



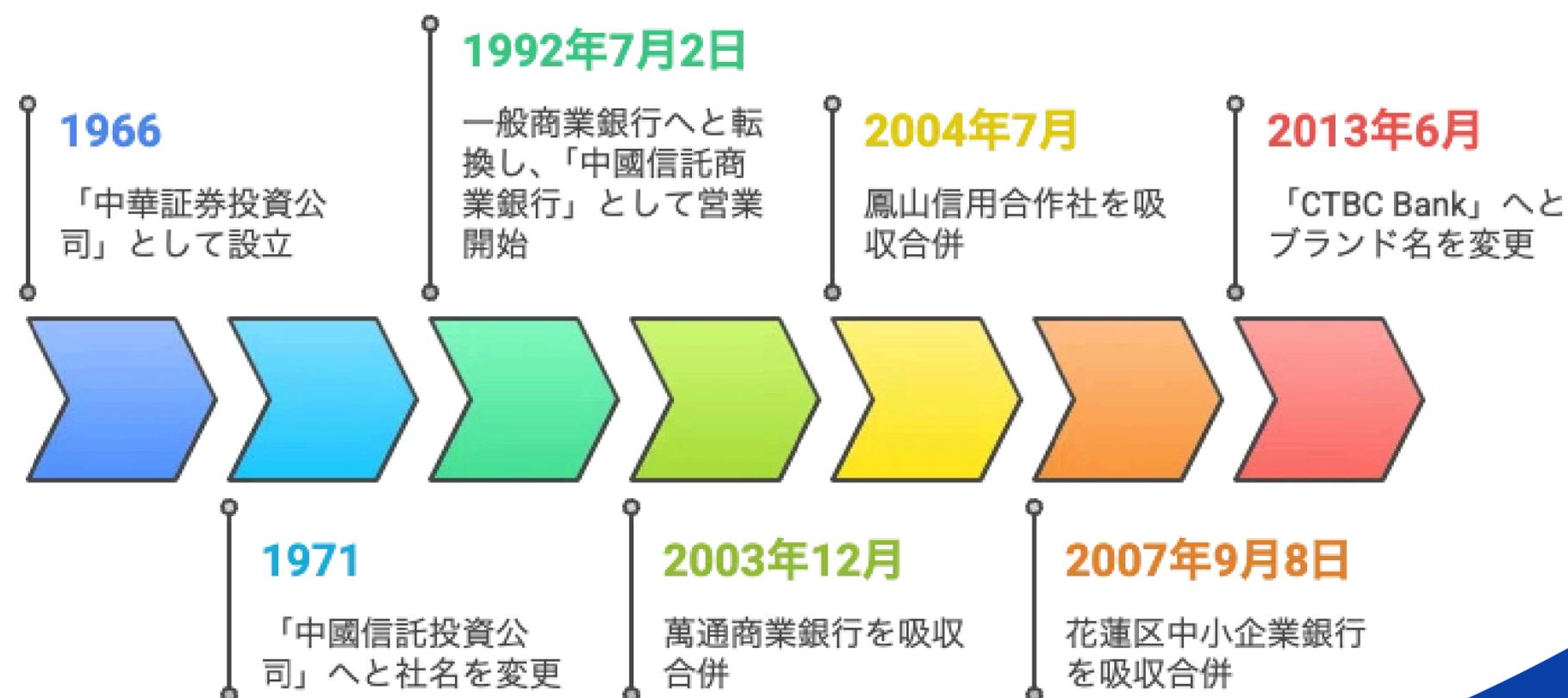
CTBC Bank

CTBC銀行（旧称：中国信託商業銀行）は、台湾の台北市に本社を置く主要な商業銀行です。その歴史と発展は以下の通りです。

事業展開

CTBC銀行は、台湾国内に144の支店を展開し、統一超商会社が運営する台湾の7-Eleven店舗を中心に、店舗外ATMの設置を拡大しています。また、日本の三井建設一級建築士事務所が手掛けた本社ビルを所有しています。さらに、日本市場にも進出しており、東京都千代田区赤坂見附に東京支店を設置しています。

CTBC銀行の沿革：時を超えた旅





CTBC Bank

東京スター銀行の買収

2012年12月30日、CTBC銀行が東京スター銀行の買収を検討していると報じられ、2013年10月31日に正式に発表されました。その後、2014年6月に正式に完全子会社化し、日本市場での存在感を強化しました。

CTBC BRANCH





Security Bank

www.securitybank.com



セキュリティバンクサービスSWOT分析

多様な提供
包括的な銀行ソリューション



限られた市場プレゼンス
地域的な焦点が成長を制限する可能性

市場拡大
新しい顧客セグメントの可能性

経済の不安定性
市場の変動に脆弱

セキュリティバンク (Security Bank Corporation) は、フィリピンの主要なユニバーサルバンクの一つであり、個人、商業、法人、機関投資家向けに幅広い金融サービスを提供しています。

セキュリティバンクの沿革：重要なマイルストーン



規模と拠点

2021年時点で、セキュリティバンクはフィリピン国内に313の支店と787台のATMを展開しています。本社はマカティ市のアヤラ・アベニューに位置しています。

株主構成

主要株主として、三菱UFJ銀行が20%の株式を保有しており、その他の株主にはFrederick Y. Dy氏 (19.39%)、Daniel S. Dy氏 (12.96%) などが名を連ねています。

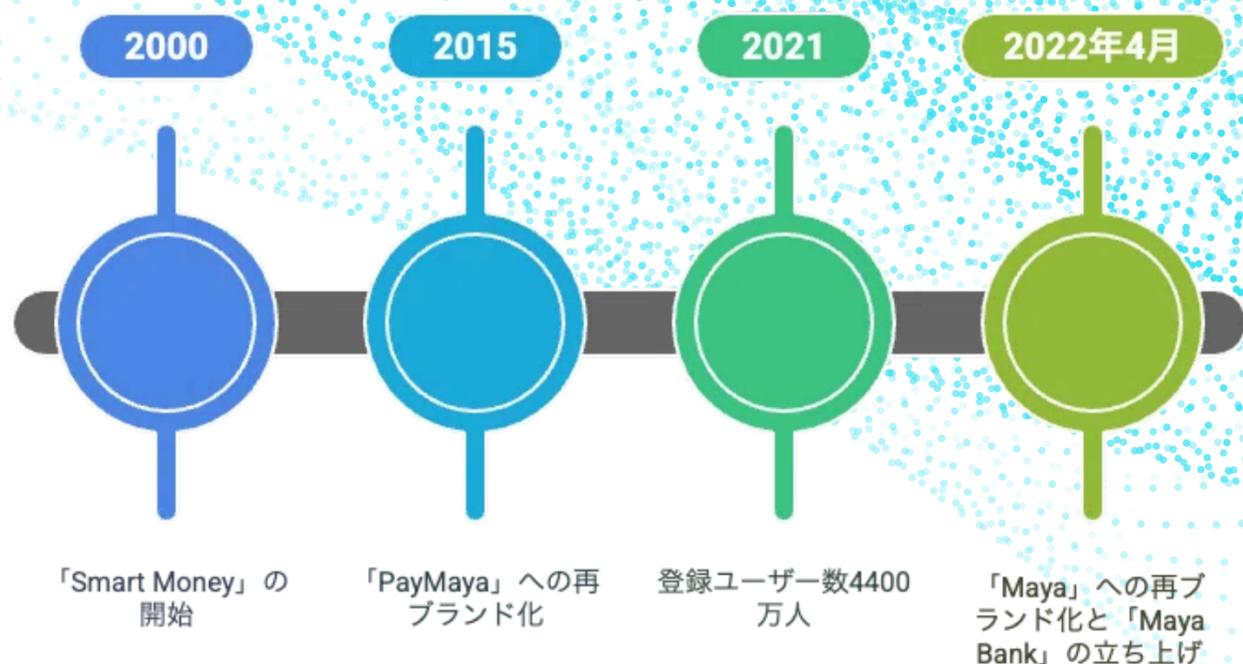


Maya Bank / E-Wallet

www.maya.ph

Maya (旧称: PayMaya) は、フィリピンにおける主要なデジタル金融サービスおよび決済プラットフォームです。個人および企業向けに、オンラインおよびオフラインでの支払い、送金、請求書の支払い、モバイルリチャージなど、多岐にわたるサービスを提供しています。

Mayaの進化: Smart Moneyからデジタルバンキングへ



Mayaの金融サービス概要



デジタルウォレット

オンラインおよびオフラインの取引を可能にする



デジタルバンキング

Maya Bankを通じた銀行サービス



仮想通貨取引

主要な仮想通貨の取引をサポート

評価と投資

2022年4月、Mayaの運営元であるVoyager Innovationsは、Susquehanna International Group (SIG) のアジア部門であるSIG Venture Capitalが主導する資金調達ラウンドで2億1,000万ドルを調達し、評価額は14億ドルに達しました。これにより、フィリピンで2番目のユニコーン企業となりました。

以上提携銀行一覧でした！

要約すると、BDOはみずほ銀行と提携していて、CTBC銀行はスター銀行の親会社でもあり、セキュリティーバンク（SB）は三菱UFJ銀行と提携しています。

Inspire社は、これらの大手銀行と連携し、重要な役割を担う企業です。

そのため、CTBC銀行では、日本国内にいらでもInspire社での面談を通じて承認されれば、海外利用可能なキャッシュカード（デビット機能付き）をお手元にお届けすることが可能です。

日本にいらながらこれだけ多くの銀行と取引できるのはこのウォレットしかないです。しかも、VISAの問題もクリアしちゃってますし。早速GoogleやAppleで「inspire wallet」検索して、その機能を試してみてください。





INSPIRE

HOLDINGS INCORPORATED